

裁判所事務官

(1)面接の概要・内容

面接日：2023年7月4日（火）

面接官（何名いたか等）：3名（女性1名、男性2名）

面接時間：14：50～15：10（20分間）

面接を行った場所について（大体の部屋の大きさ、面接官との距離等）：学校の教室2つ分程度の大きさ、面接官との距離は5メートルほど。

私：失礼いたします。

面接官A：どうぞお掛けになってください。

私：失礼いたします。

面接官A：本人確認のため、受験番号と生年月日、お名前を教えてください。

私：受験番号〇〇、生年月日は〇月〇日で、〇〇〇〇と申します。本日はよろしく願いいたします。

面接官A：よろしく願いいたします。今日は暑いですね。ここに来るのは初めてですか？

私：いいえ、裁判の傍聴で何度か伺ったことがあります。

面接官A：傍聴に来てくださっているんですね。それならきっと迷わずに来られたでしょうね。これから面接を始めますが、リラックスしてお答えくださいね。

面接官B：（面接カードの志望動機の欄を見て）裁判所事務官を目指すよりも前に公務員を目指していたんですね。

私：はい。元々は〇〇を目指していたのですが、公務員試験対策として法律を学ぶうちに法律に関わる仕事をしたいと思うようになり、裁判所事務官に興味を持ちました。その後裁判の傍聴に伺い裁判所事務官の方々が実際に働いている姿を見て、私も裁判所職員として迅速適正な裁判の実現を支えたいと思うようになりました。

面接官B：サークル活動についてお聞きしますが、サークルではどのような役に就いていましたか？

私：会計係として、サークルの資金を管理していました。

面接官B：会計係として何か頑張ったことはありますか？

私：会計係として、サークル活動で使っている教室のリフォームに取り組みま

した。その教室は暫く使われておらず活動の拠点とはしにくい状態でしたが、余ったサークルの資金を利用して机や椅子、棚などを購入し、部員が過ごしやすいような環境を整備しました。

面接官B：サークルの方からの反応はどうでしたか？

私：部員の方にも喜んでいただけて、今でもその教室を使っていたいています。

面接官B：アルバイトは塾講師をされているとのことですが、何か工夫していたことはありますか？

私：小学生の指導を特に工夫していました。小学生の中には、勉強に対してつまらないというイメージを持っている生徒もいましたが、そのような生徒に対しては適度に雑談を挟んだり、その生徒が好きなものに関連付けて指導するなど、生徒が楽しみながら勉強できるように心がけていました。また些細なことでもたくさん褒めて、生徒がモチベーションを維持できるようにしていました。

面接官B：〇〇さんは話していると安心できるような方だと感じましたが、〇〇さんは周りからどんな人だと言われることが多いですか？

私：温厚な人だと言われることが多いです。

面接官B：そう言われることについてご自分ではどう思われますか？

私：日頃から人に優しく接しようと思がけているので、そのように評価してもらえるのはとても嬉しいです。

面接官C：友達からはよく相談されるほうですか？

私：はい。よく相談されます。

面接官C：相談に乗る時に何か気をつけていることはありますか？

私：相手を否定しないことです。相手の考えが自分の考えと異なっていた場合でも、相手の考えを尊重し肯定するようにしています。意見を求めているわけではなく、ただ話を聞いて共感してほしい、という気持ちで相談することも多いと考えるからです。

面接官C：〇〇さんから友人に相談することはありますか？

私：はい。私も悩みがあれば友人に相談するようにしています。友人とはお互いに何でも話せるような、良い関係を築けていると思います。

面接官C：苦手なタイプの人はいいますか？

私：ルールやマナーを守らない人が少し苦手だと感じます。

面接官C：どのようなシチュエーションでそのような人を苦手だと思いますか？

私：例えば電車などの公共交通機関で大音量で音楽を聴いている人や、図書館などの静かにしなければいけない場所で騒いでいる人を見ると、苦手だと感じます。

面接官C：そのような人に対して注意しますか？それとも我慢しますか？

私：友人には注意しますが、知らない人に対して注意はしません。トラブルになる可能性があるからです。

面接官C：これ以降は選考に関係のない質問となります。併願状況に変更はありますか？

私：(答える)

面接官C：健康上の問題は何かありますか？

私：いいえ、特にありません。

面接官C：交通違反歴はありますか？

私：いいえ、ありません。

面接官A：面接をしてみてどうでしたか？

私：初めはとても緊張していましたが、面接官の皆様が優しく話を聞いてくださったので、自分の思っていることをお伝えできたと思っています。

面接官A：そうでしたか、それは良かったです。最後に何か質問はありますか？

私：(逆質問3つ。皆様とても親切に答えてくださいました)

面接官A：それではこれで面接を終わります。

私：本日は貴重なお時間を頂きありがとうございました。それでは失礼いたします。

(2)面接を終えての印象

終始和やかな雰囲気でした。私は志望動機が特に弱いので足切りされるのではないかと感じていましたが、話し方や人柄を面接中に褒めていただけたので、人物面を評価していただけたのではないかと思います。

(3)模擬面接と比べて実際はどうだったか

模擬面接で聞かれた質問と同じような質問をされたことが何度かあったので、模擬面接を受けていて良かったなと思いました。裁判所の面接は1つのテーマに対して深掘りされる傾向があるようなので、裁判所を受験される方は模擬面接で深掘りに対する練習をしておくといいと思います。

(4)他受験生の印象

試験会場の構造上2～3人しか他の受験生を見かけませんでしたが、皆さん真面目そうで仕事ができそうな印象でした。

(5)受験生へのアドバイス

裁判の傍聴に行っておくことをお勧めします。当日迷わなくて済むのももちろんですが、面接の話題になることもありますし、何より裁判所事務官や裁判所書記官の方々が実際にどのような仕事をされているのかを見ることができます。

また裁判所の面接カードはかなり早い時期（一次試験合格発表直後）に郵送で提出する必要があるので、早めに書いて講師の方のチェックを受けたほうがいいと思います。